

# 管理所レビュー VOL.08

(R4.9.8 水源林管理所)

令和4年度、第9回のボランティア活動が、8月27日(土)に実施されました。

活動日前後は秋雨前線の影響で雨の降りやすい日が続いていましたが、当日は、最高気温27度の晴れとなり、予定どおりに間伐作業を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

日本気象協会発表の9月の気温は、全国的に平年より高い見込みとのことですが、道志村では日中暑くても吹く風は秋の気配を感じる涼しい風となり、朝晩はだいぶ気温も低下し、寒暖の差が大きくなっています。

これからの季節は、汗をかいたり、にわか雨などに濡れると急に体が冷えますので、体温調節をできるように、服装の準備は万全にしてご参加ください。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 活動当日の様子



晴天にそびえる鳥の胸山。



準備体操をしっかりと。



行ってらっしゃ〜い!



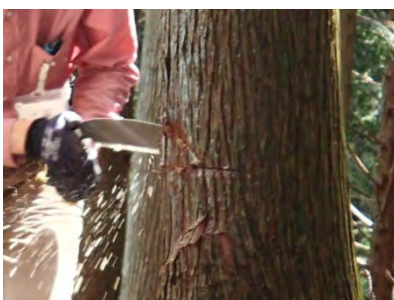
枝払いはロープを片付けから。



枝払いは周囲にも注意!



追い口の切り込み具合を確認!



下切りと斜め切りの終わり部分を一致させて!



ロープ引きは伐倒木に注目!



追い口切りは受け口と平行に!



浮いた材の玉切りは注意して!



材の状況によっては下側から!



材の運搬は手元ロープと協力で!

## 2 安全作業の参考として（災害事例紹介）

林業・木材製造業労働災害防止協会 2022 年発行の「林材安全 9 月号」に掲載されていた災害事例を紹介しますので、安全作業の参考にしてください。

### 〔災害の発生状況〕

被災者は、山林内において、同僚と 2 人でそれぞれの持ち場で、チェーンソーを使用してマツ立木の伐倒作業に従事していた。

胸高直径 30 cm、樹高 20m のマツを伐倒したところ、隣接する立木にかかり木となった。このため、被災者はかかっている木に近づいてその状況を確認していたところ、突然かかっている木が外れ、被災者の頭部に激突した。

### 〔災害の発生原因〕

- ① かかり木の状況確認中にかかり木直下の危険区域に立ち入ったこと。
- ② かかり木の状況について常に注意していなかったこと。
- ③ かかり木に対する危険の認識が低かったこと。

### 〔災害の防止対策〕

- ① かかり木の直下は、いつ、かかっている木が外れ落下するか分からない状態にあるので、かかり木の状況確認等段取り中であっても、かかり木が外れ危険が生ずるおそれのある個所には立ち入ってはならないこと。
- ② かかり木の処理が終わるまで、かかり木の状況に常に注意を払い、危険が生ずるおそれのある場合には、予め選定した退避場所に速やかに退避すること。
- ③ かかり木の処理について、事前調査及び作業計画により、予め安全な方法を定め、その方法によりかかり木を取り除くこと。

### 〔かかり木が外れて激突された災害について〕

かかり木の直下及びその周辺に入って状況確認やロープ掛け作業中にかかり木が落下して激突される災害は、平成 30 年度からの 4 年間で 1 件であったのに対し、本年は 1 月～6 月までの半年間の 14 件の死亡災害の中で既に 2 件発生しています。

このため、かかり木はかかっている枝が折れたり、風が吹いたりすると、突然かかっている木が外れて落下して激突し大変危険であることを改めて認識し、かかり木の処理に当たっては、次により実施することが必要です。

かかり木は、隣接木との枝がらみなどによってかかり木になっていて、いつ落下してくるか分からない危険があることから、かかり木の直下及びその周辺で処理作業の段取りを行わないようにすることに尽きます。かかり木の状態を注視しつつ、危険を及ぼさない場所から、木回し、ロープ等を使用してかかり木を外すようにしましょう。

（「林業・木材製造業労働災害防止協会 林材安全」より一部抜粋）

※ 処理の困難なかかり木が発生した場合は、無理をせず、管理所職員に報告をお願いします。

※ 次回、9 月 10 日（土）は、曇り、最高気温 24 度の予報となっています。

★それでは次回 9 月 10 日、気をつけてお越しください。

